

名古屋の文化財を訪ねて

今年度の県外日帰り現地研修会は、名古屋市の文化財を訪ねます。国重要文化財の名古屋市市政資料館と貨幣・浮世絵ミュージアム、国重要伝統的建造物群保存地区の有松の町並みを見学します。皆様お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

1 期日 令和8年2月18日(水)

2 日程 (名鉄観光バス利用) ※途中の時刻はだいたいの目安です。

岐阜 - 大垣 - 大垣西 IC = 美濃 IC - 美濃 - 関 - 関 IC
7:30 8:20 9:10 9:25

= 川島 PA【休憩】 = 明道町 IC - **名古屋市市政資料館(国重要文化財)**
9:50~10:00 10:30~11:30 (グループに分かれて研修)

- **貨幣・浮世絵ミュージアム** - 木曾路瓦町店【昼食】 - 吹上東 IC
11:45~12:30 12:45~13:30

- 有松 IC - **有松の町並み(国重伝建地区)、有松・鳴海絞会館** - 有松 IC
14:00 ~15:30 (グループに分かれて研修)

- 関 IC = 関 - 美濃 - 美濃 IC - 大垣西 IC - 大垣 - 岐阜
16:45 17:00 17:50 18:40

乗車場所 岐阜：JR 岐阜駅北口じゅうろくプラザ北 大垣：旧大垣ヤナゲン前
美濃：県中濃総合庁舎西バス停付近 関：関シティターミナル

3 研修場所 ※詳細は裏面をご覧ください。

名古屋市市政資料館：大正11年建築の「名古屋控訴院・地方裁判所・区裁判所庁舎」で、国重要文化財に指定され、名古屋市市政資料館として整備、公開されています。

貨幣・浮世絵ミュージアム：日本や世界の貨幣、歌川広重の貴重な作品を展示。

有松の町並み：東海道の旅人の土産物として絞り染めが考案され、有松絞りのまちとして発展。絞商の伝統的な建物が残り、繁栄した往時の様子を伝えています。

4 募集人員 40名

5 参加費 会員9,500円 一般10,000円 (車中で集めます)

※有松・鳴海絞会館では、平日は6名以上参加で講師の都合がつけば、「手ぬぐい絞り体験」(別途2,500円)ができます。その場合、有松の町並み見学はできません。体験を希望される方は予約時に申込をお願いします。(人数・講師の都合でできない場合もあります。)

【参加申込】

令和8年1月30日(金)までに
電話かQRコードで申込ください。
※12/25~1/7、土日祝日は事務局閉室



参加申込

岐阜県文化財保護協会

岐阜市藪田南5-14-12

TEL 058-214-9112

緊急時 080-5115-2090 (川部)



名古屋市政資料館：大正 11（1922）年に建設された名古屋控訴院・地方裁判所・区裁判所庁舎で、現在は市政資料館になっています。重厚な概観、大理石造の中央階段、司法に関わる展示など見どころがいっぱい。「東区文化のみちガイドボランティアの会」の方に説明していただきます。



貨幣浮世絵ミュージアム：豊臣秀吉のつくらせた大判や江戸時代の藩札や版木などの貴重な資料や世界の貨幣を見ることができます。浮世絵展示では歌川広重の東海道五拾三次などが紹介されています。

有松の町並み：ゆるやかに曲がった東海道約 800mの区間に沿って、広い間口を持つ絞商の主屋や門・塀が数多く見られ、統一感のある有松絞りの町並みが残されています。「有松あないびとの会」の方に案内してもらいます。



有松・鳴海絞会館：2階の展示室で有松・鳴海絞りの歴史や絞りの手法を学べます。職人による「くくり」の実演も見学できます。また、1階は、絞り商品が販売されています。予約すれば、手ぬぐい絞り体験を行うことができます。